

製品名: USP48 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab19684

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	120kDa

抗原情報

遺伝子名	USP48
別名	USP48; USP31; Ubiquitin carboxyl-terminal hydrolase 48; Deubiquitinating enzyme 48; Ubiquitin thioesterase 48; Ubiquitin-specific-processing protease 48
遺伝子 ID	84196.0
SwissProt ID	Q86UV5
免疫原	抗血清はヒト USP48 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 631-680

背景

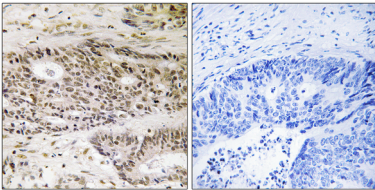
この遺伝子は、ユビキチンカルボキシル末端加水分解酵素ファミリー 2 としても知られるペプチダーゼファミリー C19 に関連するド

メインを含むタンパク質をコードしています。ファミリーメンバーは脱ユビキチン化酵素として機能し、ユビキチンの C 末端グリシンにおけるペプチド結合を認識して加水分解します。ペプチダーゼファミリー C19 の酵素は、ユビキチン化されたタンパク質だけでなく、ポリユビキチン前駆体のプロセッシングにも関与しています。異なるアイソフォームをコードする代替転写スプライスバリエントが特徴付けられています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],触媒活性: ユビキチン C 末端チオエステル + H(2)O = ユビキチン + チオール。注意: 一部の著者によって USP31 と命名されました (PubMed:15354349 および PubMed:17081983) 。機能: ユビキチンの C 末端グリシンにおけるペプチド結合を認識し、加水分解します。ポリユビキチン前駆体およびユビキチン化タンパク質のプロセッシングに関与しています。RELA および TRAF2 との相互作用を介して、TNF 受容体スーパーファミリーによる NF-κB 活性化の調節に関与している可能性があります。シナプス後部位における調節的役割も果たしている可能性があります。配列注意: 配列が汚染されています。潜在的なポリ A 配列。類似性:ペプチダーゼ C19 ファミリーに属します。類似性:ユビキチン様ドメインを 1 つ含みます。類似性:DUSP ドメインを 3 つ含みます。サブユニット:TRAF2 および RELA と相互作用します。組織特異性:広く発現しています。 ,

研究分野

細胞生物学; タンパク質分解 / ユビキチン; プロテアソーム / ユビキチン; 脱ユビキチン化; エピジェネティクスと核シグナル伝達; ユビキチンおよびユビキチン様修飾因子

画像データ



USP48 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。